

2016.3.1

No.17

興道東部保育園

米沢市下花沢3丁目10番9号

TEL 0238-23-6624

# みんなの もうひとつの おうち



いじめさけん

園長 菊池道喜

本年度は、園長・主事・主任が入れ替わり人的に慌ただしい一年でしたが、ゆつたりとした園舎内外の環境の中、子どもさんの保育に携わることができてうれしい限りでした。

「みんなのもつひとつのおうち」ということを主に取り組んで来ましたが、子どもたちも和やかな雰囲気の中で過ごせたのではないのでしょうか。

新年度は、さらに日々の保育そのものである、今を大切にしていこうと、子どもたちが人間として大いなる成長を遂げられるように願い、職員一丸となって保護者の皆さんと共に質の高い保育を目指していく所存です。

それには、人間として生まれて来ることができて、この大自然の中で生きて生かされていることに気づき感謝することが大事だと心得ます。このことを踏まえて、ありがとうという感謝の気持ちを持って、明るく元気よく毎日の保育に活かしていきたいと思っております。

**ゆり組**  
(5歳児)

**たくさんの木々に感謝して**

園庭にはたくさんの木があります。その木一つひとつのプレート作りに挑戦したゆり組の子どもたち。自分が担当する木の名前をすぐに覚え、のこぎりで板を切り名前を書きました。プレートが完成し、木に付けられると友たち同士で見せ合って喜び、小さい子に「この木は“やまぼうし”っていう木なんだよ」などと教える姿がありました。

プレート作りを通して、自分たちの木という気持ちが芽生え、同じ名前の木でも、形や大きさなどの違いがあることに気付き、絵を描きました。また、ままごとあそびに木の実や草花を使い、自然の中であそぶ楽しさを感じた子どもたちです。



**すみれ組**  
(4歳児)

**自然が子どもたちに  
教えてくれるもの**

東部保育園の園庭は、たくさんの木々に囲まれています。山の上には大きな石や池があり、子どもたちはこの自然の中で大きくなっています。日々の保育のなかで、木や草花などの自然のものには大切な命があり、みんなを見守ってくれているという話をすると、子どもたちが園庭の石を拾い、きれいに洗って乾かし、「みんなを守ってくれるかみさま」と言って顔を描き始めました。そして、園庭の木の根元に飾りました。

周りのものに感謝し、命を大切にしようという気持ちで育っています。これからもそんな気持ちを大切にしていってほしいと思います。



**たんぽぽ組**  
(3歳児)

**見て、触れて、  
食べて、あそんだよ**



園庭には、石や葉、木の実などたくさんの魅力があり、特に3歳児の子どもたちは、姫りんごが赤くなるのを心待ちにしています。今年は初めて姫りんごジャムを作りました。ジャムをパンに付けて食べると「おいしいね」「いいにおい」と友だちと顔を見合わせ、姫りんごの魅力を見つめ直していたようです。

紙粘土では、姫りんごづくりが始まりました。くるくると丁寧に丸め、軸も付けました。何度も姫りんごに触れて確かめ表現する喜びを楽しみながら、絵の具で色を付け、かわいいうりんごができてきました。

**東部農園**

**宮澤さんのおじいちゃん、  
ありがとう**

東部保育園には、“東部農園”という畑があります。今年、職員のおじいちゃんである宮澤庄二さんに、野菜の育て方を度々教えていただき、水やりや草むしりに励み、愛着をもって育てることができました。

夏には、きゅうりやトマト、なす、ピーマン、じゃがいもが豊作で「今日もいっぱいとれたよー」と自分たちで育てた喜びを感じることができたようです。

秋には、さつまいもや里芋、大根を収穫し、宮澤さんをご招待して“おでんパーティー”をしました。みんなで宮澤さんに感謝の気持ちを伝え、一緒に味わいました。

みんなで育てた野菜を料理し、みんなで頂くことが東部保育園の伝統になっています。



**きょうはなにしておそぶ？**

**どこでおそぶ？**

**こうめ組**  
(0歳児)

**自然いっぱい！  
見て触れて楽しいね**



0歳児の子どもたちにとって目に映るもの全てが初体験！なんでも触れてみたい！近くで見てみたい！と好奇心旺盛な子どもたちです。

園庭に落ちていた石や木の枝、木の実、葉っぱを取ると、ぎゅっと握りしめたり、匂いをかいだり、持ち歩くかわいいう姿が見られます。まるで宝物を見つけたように、嬉しい気持ちが溢れているようです。

園庭で見つけた一人ひとりの宝物を保育室に飾り、一緒に見たり触れたりして楽しみました。

**うめ組**  
(1歳児)

**外あそび大好き**

保育園の園舎南側には、「ひろちゃん山」と「もこちゃん山」の大小2つの山があり、「ひろちゃん山」にある“やまぼうし”の木は、子どもたちのお気に入りの場所の一つです。木にまたがって得意な笑顔が見られました。

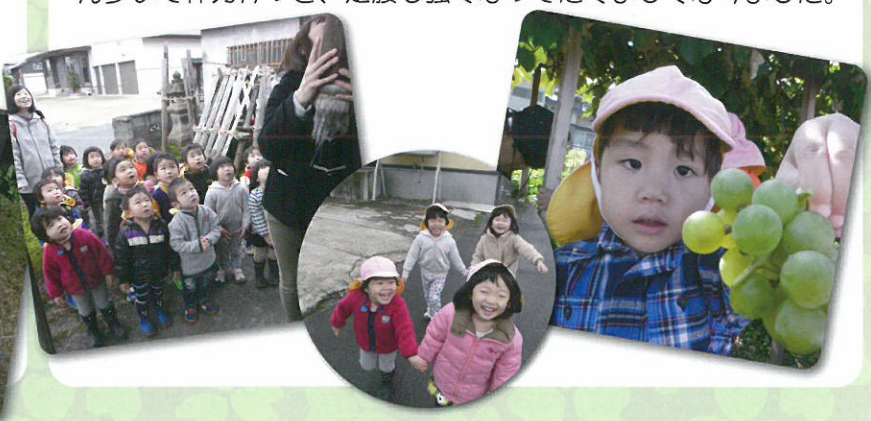
1歳児の子どもたちは、歩行が安定し、体のバランスをとりながら、冒険してあそぶことが楽しい時期です。たくさんの竹を斜面に敷き、ゴツゴツとした竹の感触を感じながら足を踏ん張り、登りきると満足感でいっぱいの表情を見せてくれました。また、斜面にシートを広げると、お尻で滑ったり、横になって転がったりと、歓声をあげて何度もくり返し楽しんでいました。



**もも組**  
(2歳児)

**保育園の周りは  
ワクワクがいっぱい**

春先は新幹線を見に行くことが散歩の定番でしたが、夏の終わりからいそいそと散歩に行きました。ぶどう狩りや河川敷、花沢団地の公園、熊野神社、准舘観音など、片道30分の道のりも喜んで歩いていきます。散歩の道中に、ひなたぼっこしている猫がいたり、チューリップやみまわり、干し柿を見つけて、季節の移り変わりを感じられました。地域の方に「めんごいな」と声をかけて貰い、たくさんのお会いと発見があり、そのたびに子どもたちは目を輝かせていました。「今日はどこに行く!？」と子どもたち。たくさん歩いて体力が付き、足腰も強くなってたくましくなりました。



# 公開保育を終えて

平成27年10月15日(木)、興道東部保育園を会場に米沢市幼少連絡協議会の公開保育が行われました。当日は、天候にも恵まれ市内の小学校、幼稚園、保育園からたくさんの先生方が来てくださいました。

公開保育では「みんなのもうひとつのおうち」をテーマに、いつも通りにクラスの隔たりなく子どもたちがかわり合い、自分の好きな遊びをいきいきと楽しむ様子を見てもらいました。また、1歳児から、外に出る時の手順がわかり、自分で身支度する姿や、食事の配膳、下膳をする様子を見てもらい、子どもを信じて育てていくことの大切さを感じていただいたようです。

来園された先生方からは、「保育園全体が“みんなのもうひとつのおうち”であることが理解できた。そして、子ども同士や周りの大人との関わりの中で子どもたちの自主性や社会性が育っている。」と温かい言葉をいただきました。日頃から、保護者の皆さんや地域の皆さんのご理解とご協力を頂いてのことと、心より感謝致します。



## クッキングはたのしいなー

畑で採れた、じゃがいもを使って年長組が“じゃがいももち”を作りました。“ピーラー”は「お家で練習してきたよ」とやる気満々です。“はかり”にも初挑戦。「50グラムになってる?」「もうすこし」「あーいれすぎた」と友だちに聞きながら計っていました。蒸したじゃがいもをつぶす時は、友だちがしっかりとボウルを押さえてサポートしてくれます。出来上がった熱々のおもちを味見!「こんな美味しいもち食べたことない」と大満足の笑顔でした。この活動は“じゃがいももちづくり”という、子どもたちのレシピ作りに発展しています。

他にも、よもぎだんごやホテトサラダ、カレーライス、ホットケーキなどの調理を通して、道具の使い方や友だちと協力することを学びました。



夏に収穫したじゃがいもを使ってゆり組さんがじゃがいも餅を作りました。とても美味しいので、今でも人気のおやつです。

### じゃがいも餅のレシピ



#### \*材料\*(6人分)

- ・じゃがいも・・・3個
- ・マーガリン・・・20g
- ・塩・・・・・・・・小さじ1/3
- ・砂糖・・・・・・・・大さじ2・1/2
- ・片栗粉・・・・・・・・50g

#### \*作り方\*

- ①じゃがいもは、皮をむいて一口大に切って茹でる。(レンジで加熱してもOK) 水分を切っておく。
- ②①をボールに入れてマッシャーでつぶす。
- ③②にマーガリン・塩・砂糖を入れて良く混ぜ、片栗粉も入れてまぜる。
- ④小判型に丸めて、油で揚げる。

### 編集後記

今年度は、1年を通して園内の豊かな自然を生かして保育を進めてまいりました。子どもたちは四季の自然から新しい発見や興味を抱き、そこから自然の物を使った遊びや体験へと展開していきました。一貫して楽しむことができたと感じております。今回はそんな「自然」をテーマに子どもたちの様子や元気に遊ぶ姿をご覧頂きたいと思います。最後になりましたが、情報誌の発行にあたり、原稿、写真などでご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。